学校番号	201

令和8年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「論理国語」（数研出版）						
副教材等	「〈改訂版〉新共通テスト対策決戦現代文完答 30」（尚文出版） 「新訂版正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ 3」（数研出版） 「共通テスト国語過去問題総合版令和3～7年」（尚文出版） 「ことばはちからダ！現代文キーワード」（河合出版） 「音訓別重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・希望進路実現に向け、既習の読解力（読解技術）を意識的に活用し、問題解答力の伸長を図る。
・頻出のシチュエーション、出題のパターン、解答作成のルールなど、大学入試問題等に対する実践力を磨き、第2学年までの学習で得た現代文読解力を大学入学試験等の本番で最大限に発揮できるようにする。
・解答作成においては、選択式問題はもちろん、記述問題に対しても、積極的に解答作成に臨める姿勢を身に付ける。
・一年間の学習を通じて、学習の到達段階を自己で把握しながら、既習事項の理解度に対する自己検証・反復学習を行い、高次の発展的問題演習を行う姿勢を涵養する。

2　学習の到達目標

・近代以降の文章の語彙、文体、修辞などの表現上の特色について理解を深め、言葉による的確な認識や表現に役立てる技能を身に付ける。
・確固たる読解力に基づき、文章の論理性を的確に捉えて評価する力を養う。また、書き手の意図や人物、情景、心情の描写を論理的に分析し、それらを自身の見方や考え方と関連付け、論理的な構成や表現を用いて自身の考えを適切に表現する力を養う。
・言葉が持つ認識の可能性や役割を自覚し、文章を通じて他者や社会と積極的に関わろうとするとともに、自己のものの見方、感じ方、考え方を広げ、豊かな感受性を持って主体的に言葉の力を磨き、学びを深めようとする態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・「知識」については、実社会で必要となる国語の知識や技能を身に付けようとしている。 ・「技能」については、文章の論理展開を理解し、的確に要旨を把握している。	・「思考」については、近代以降の文章を的確に、かつ、目的に応じて幅広く読解する際、自身の価値観と照らし合わせ、思考することにより、文章を論理的、批判的に捉える力を伸ばし、創造的に考える力を養おうとしている。 ・「判断」については、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。 ・「表現」については、国語で理解し表現する力を積極的に高めようとし、その向上を図ろうとしている。	・国語で理解し表現する力を積極的に高めようとしている。 ・国語を尊重する姿勢のもと、国語に関する知識の量を増やし、論理的思考力、多様な現代文に応用できる読解力を意欲的に高めようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	「日常」を捉えなおす [教材] ・『暴力はどこからきたか』 ・『「である」ことと「する」こと』 ・『安心社会から信頼社会へ』他	a:推論の流れについて的確に理解している。主張とその論拠や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b[読]:、人間、社会、自然など文章のテーマについて、自己の解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点に立ち、自己の考えを深めている。 c:文章の論理展開や表現を的確に読み取り、筆者の主張を理解した上で、学習課題を踏まえ、適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
	副教材を用いた小説・随想・実用文分析 [教材] ・『玉の行方』 ・『寄付・共助社会について』他	a:言葉そのものの意味を理解したうえで、本文中での特徴的な意味をとらえている。 b[書]:段落や一文の役割にも意識を向け自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c:文章全体に透徹したテーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出

2	「人間」を様々な視点で考える [教材] ・『身体と出現』 ・『ファンタジー・ワールドの誕生』 ・『近代デザインの展開』他	a:専門用語など日常生活で使用する機会の少ない語彙の意味を正確に理解し、論旨の構造を把握している。 b[読]:筆者の主張や文章の内容を、自身の価値観と対照化させて読み、自分の考えを更に深めている。 c:筆者の意見を参考にしながら、根拠や具体例を用いて文章を構成し、積極的に学習課題に沿って自分の意見をまとめようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
	副教材を用いた小説・随想・実用文分析 [教材] ・『秋の日の影』 ・『男女共同参画社会について』他	a:情報を階層化して整理統合する方法を駆使し、文章全体の構成や展開の仕方を把握している。 b[書]:様々な価値観を持つ読み手を納得させるため、批判的に読まれることを想定して、説得に効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 c:課題テーマについて自身の考えを深め、多様な例を想起しながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出
3	副教材を用いた応用的な評論・小説・随想・実用文の読解、実践問題演習 [教材] ・副教材など	a:論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な知識力を高め、設問を解き見直すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:文章の構成、論理の展開などを的確に捉え、論点・要旨を明確にしながら設問の解法に反映させている。 c:筆者の考えと自身の価値観を対照化させ、学習課題の意図に沿う形で、自身の考えを明確に表現しようとしている。	小テスト 定期考査	課題提出 定期考査	課題提出

※表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[ ]について…括弧内には[話／聞、書、読]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと … ( )時間

・書くこと … (25)時間

・読むこと … (45)時間